

2026年 宗会（臨時会）2024年度決算概況(要旨)

宗議会2026年1月20日

2026年宗議会臨時会に提出の決算関係の議案について、2024年度決算概況を申し上げます。

まずは、2024年度宗派経常費御依頼の収納につきまして、ここにあらためてご報告いたします。御依頼総額50億2,018万円に対し、54億2,603万1,204円、率にして108%の収納をいただきました。全教区からご完納をいただきましたことから、2024年度一般会計経常部歳入の「4款 相続講金」は105.8%、「5款 同朋会員志金」は108.9%の収納率となりました。宗門活動に深いご理解をいただき、格別の御懇念を賜りましたこと、心から御礼申し上げます。

さて、2024年度一般会計については、経常部・臨時部合わせた歳入額は87億8,820万円、予算に対して100.8%の収納率であります。

経常部歳入は、84億4,177万円、収納率は102.3%であります。

2024年度予算において増額編成した主な科目を見てみますと、990万円増額編成した「1款1項3目 同朋会館冥加金」は収納率83.5%であります。前年度比1,042万円の増収。「1款1項7目 不動産冥加金」は1,425万円増額編成し、収納率120.5%、前年度比5,093万円の増収。渉成園の拝観者にご協力いただく「7款 寄付金」は3,600万円増額編成し、収納率104%、前年度比1,569万円の増収。利息収入及び物品販売の他、文化財施設の活用により「9款 雑収入」は653万円増額編成し、収納率120.2%、前年度比1,743万円の増となりました。

一方で、執行率の低い歳入科目を見てみますと、「1款1項2目 研修冥加金」の収納率は78.2%、「3款1項2目 帰敬式」の収納率は74.9%、「3款2項2目 門徒用授与物」の収納率は81.7%でありました。

次に、経常部歳出は、78億9,478万円であり、予算に対して95.6%の執行率であります。

2024年度において能登半島地震の支援科目として新設した「7款3項4目 能登半島地震災害復興支援費」は、宗務役員派遣及び御正忌報恩講における支援事業並びにボランティア支援センター運営費等として執行率87%、「同項5目 広域災害被災教区特別教化助成」は、能登教区への教化助成として執行率96.4%であります。また、全国からお寄せいただいた救援金は、2024年度は能登教区へ6,951万4,874円を給付し、これまで被災教区へ総額2億7,651万4,874円をお届けいたしました。被災された方々に思いを馳せ、救援金をお届けくださいましたことに、あらためて心から御礼申し上げます。

す。

また、予算超過した主な科目として、教区指定・組主催の同朋の会推進講座へ助成する「４款２項１目 同朋の会推進講座」は実施数増により執行率１１９．５％、弁護士費用等を支出する「８款２項２目 法律相談費」は大谷専修学院に関する仮処分及び団体交渉に係る支出により２１１．６％、時間外勤務手当等を支出する「１０款４項１目 諸手当費」は時間外及び通勤手当の増額により１０５．４％、この増額に伴い「同項２目 社会保険費」は１０６．５％となり、各項の予算超過分は、第１予備費より振替いたしました。

なお、「７款３項 災害見舞費」の残額６２１万円は災害見舞準備金（現在の災害対応準備金）へ、「１０款５項１目 退職慰労金」の残額９，６１７万円は退職慰労金給付運用資金へ、それぞれ条例に則り繰入いたしました。

次に、臨時部歳出は、２０２３年度より着工いたしました重要文化財指定の鐘楼及び手水屋形の修理事業を完了いたしました。

また、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業を完遂するため２０２３年度から２０２５年度の３ヵ年度で実施する「６款 慶讃事業継続費」は、執行率５９．６％であります。執行率が低い主な要因は、教区慶讃法要の助成に関して想定総額の半額である５，０００万円を計上した予算に対し、２０２４年度勤修された教区が少なかった点及び宗祖親鸞聖人著作集の続刊の発行が２０２５年度に変更した点であります。なお、すでに２０２５年度予算編成で組み直しを行い、２０２５年度で事業が達成されるよう取り組んでいます。

総じて、２０２４年度一般会計経常部臨時部決算における歳入歳出差引剰余金は５億５，２９１万円となり、半分である２億７，６４５万円をそれぞれ２０２５年度平衡資金及び２０２６年度一般会計へ繰入いたします。

次に、第２種共済特別会計については、令和６年能登半島地震の被災寺院・教会へ復興共済金及び共済見舞金の総額４９億４，０１３万円を含み、歳出「１款 共済金」において５２億４，２２６万円の給付を行いました。この支出超過額については、条例に則り復興共済積立金から４７億７，９０８万円の繰入を行っております。なお、復興共済積立金の残高は４３億３，３２０万円であります。

次に、東本願寺出版特別会計については、『真宗聖典第２版』『真宗大谷派儀式軌範』の頒布やＥＣサイト・お買い物広場での頒布増により、歳入「１款 出版物冥加金」は、収納率８４．７％であります。前年度比２，７００万円の増収でありました。

次に、東大谷墓地特別会計については、繰越金を除く歳入小計は収納率１０２．７％、墓地冥加金・読経志の増収及び万灯会の提灯価格改定による増収により、前年度比３５６万円の増収でありました。

次に、首都圏教化推進特別会計については、仏事代行及び会館執行法務の減少により歳入「３款１項１目読経志」は収納率７５．９％、歳出「２款１項２目 共同教化推進事業費」は執行率６２．０％でありました。また、歳入「１款 一般会計回付受金」は、２０２４年度決算より歳入歳出差引剰余が生じない必要額のみ一般会計から回付いたしました。

以上、２０２４年度決算概況といたします。